

# 人間科学専攻(博士後期課程)

## 教育基本方針

甲南大学大学院人文科学研究科人間科学専攻は、哲学、芸術学、心理学の各研究領域に関し、それぞれの領域の研究に必要な、先行研究の検討、目的に応じた研究計画立案、研究成果の伝達等についての基礎的な能力を修得するとともに、幅広い専門知識、高い倫理性、積極的な社会貢献への意志を有する人材の育成をめざします。【修士課程】では、教員、博物館学芸員をはじめとして、現代社会の複雑な問題に柔軟に対応できる幅広い専門知識を備えた専門職業人・研究者の育成をめざし、【博士後期課程】では、現代社会の複雑な問題に広く、かつ、深く対応できる幅広い専門知識を備えた高度専門職業人、創造性豊かな自立した専門研究者の育成をめざします。

## 修了認定・学位授与の方針

甲南大学大学院は、大学院学則第1条に定める、甲南大学の教育精神に基づいて育成された一般的及び専門的教養を基盤として、学術の理論と応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献することを目的としています。

人文科学研究科人間科学専攻においては、本研究科及び本専攻の教育基本方針のもと、下記の能力・資質を身につけ、社会及び学術の発展・向上に寄与できる人材の育成を教育目標とします。課程の修了にあたっては、本研究科の定める期間在学し、本専攻が定める課程修了に必要な単位を修得のうえ、論文等の審査及び最終試験に合格した者に博士(文学)の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

(1) 哲学、芸術学、心理学の各研究領域において高度な研究能力を身につけ、先行研究を踏まえて、独創性、有用性、発展性を備えた優れた博士論文を執筆する能力を備えています。

(2) 研究者として哲学、芸術学、心理学の各研究領域の発展に貢献するとともに、高い倫理観と積極的な社会貢献への意志を備えています。

## 教育課程編成・実施の方針

人文科学研究科人間科学専攻では、学位授与の方針に掲げる能力・資質等を修得させるために、必要とする科目を体系的に編成し、演習、講義、実習のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。また、学位論文等の作成等に対する指導を行います。加えて、修了認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

カリキュラムは、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を検証することにより、組織的かつ定期的に見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、評価については以下のように定めます。

### 【博士後期課程】

#### 1) 教育内容

哲学、芸術学、心理学の各研究領域における高度専門職業人又は自立した研究者として必要な能力を習得するため、それぞれの領域における知識、技能を身に付けるための教育課程を編成し、実施します。

#### 2) 教育方法

- (1) 1)に掲げた教育内容を、授業及び研究指導によって行います。
- (2) 授業は、講義及び演習により実施します。
- (3) 研究指導は、演習と個別指導により実施します。

#### 3) 評価

- (1) 単位の認定については、大学院学則第9条に基づき、筆記試験、口述試験、報告等及び各科目のシラバスに定める方法によって学期末又は学年末に評価します。
- (2) 博士論文の審査並びに最終試験は、専攻で定める審査基準に基づいて行い、その結果に基づき合否を判定します。

## カリキュラムマップ

カリキュラムマップ		
到達目標		対応する修了認定・学位授与の方針の番号
A	先行研究を踏まえた上で、自らの問題意識、着眼点を明らかにできる能力	(1)(2)
B	目的に応じた研究計画を立案し、情報収集、分析方法を選定、創意工夫する能力	(1)
C	論拠となる資料を明示して適切な分析と独自の考察を展開する能力	(1)
D	研究の成果を適切な文章で論理的に伝える能力	(1)
E	研究成果や自らの考えを的確にプレゼンテーションする能力	(1)
F	哲学における深い知識	(1)
G	芸術学における深い知識	(1)(2)
H	心理学における深い知識	(1)
I	現代社会の複雑な問題に柔軟に対応し、社会に貢献する能力	(1)(2)
J	専攻分野の関連領域に関する幅広い教養	(2)

授業科目表（人間科学専攻（博士後期課程））

[2021年度(令和3年度)の入学生に適用]